

平成26年度 長浜統合新校設置懇話会 第2回会議 概要

1 日 時

平成27年1月29日(木) 18:00～19:00

2 場 所

県立長浜北高等学校 セミナーハウス

3 委員紹介

- ・ 岩崎 陽子委員(長浜北高等学校 学校評議員)の後任として、委員を依頼した井口 貢氏を紹介

4 会議の内容

(1) 報告事項

- ・ 第1回懇話会以降の状況報告

(2) 意見を伺う事項

- ・ 統合新校の教育内容等について

5 出席者

(1) 委 員

浅見 幸則 委員(長浜市立中学校 保護者)

井口 貢 委員(長浜北高等学校 学校評議員)

北川 庸子 委員(長浜高等学校 学校評議員)

田中 智佐人 委員(長浜高等学校同窓会 前会長)

藤原 久美子 委員(長浜市企画部 部長)

吉田 豊 委員(長浜北高等学校同窓会 前会長)

* 宮腰 悦子 委員(児童文化活動支援グループ「すずめの学校」代表)は欠席

(2) 統合新校開設準備室

辻 浩一 統合新校開設準備室長(長浜北高等学校長)

丸岡 修三 統合新校開設準備室参事(長浜高等学校長)

森田 恭司 県教育委員会事務局学校支援課参事

6 主な意見

- 再編計画のコンセプトに基づき、教育目標、教育方針に従って教育課程などで新校の姿を考えてきた。

- 教育課程は、国公立大学受験に対応、英語教育の充実を大きな二つの目的として検討している。
- 知識注入型ではなく、考える授業に全教科で取り組む。
- 英語と情報の授業に「総合的な学習の時間」を関連付けて行い、特色ある英語教育を目指す上で、通常の英語の時間数での不足を補うことを考えている。
- 部活動については、8学級規模になり、活動する生徒数が増えた場合を想定して、既に外部施設を借りるなどで対応することを検討している。
- 国の新しい教育施策は、新校に取り入れていただきたい。
- スーパー・グローバル・ハイスクールや国際バカロレアなどを新校に入れることについても、検討していくべきだと考えている。
- 新校の入学選抜は、特色選抜を行うことを検討している。
- 統合移行期の2年間の部活動について、長浜高校には、強化指定を設けている部活動があるので、練習や大会出場については、単独で活動や大会出場を基本に考えている。
- 入学式は、合同での開催、卒業式は、長浜高校、長浜北高校を同じ日に行う方法などを、これから考えていきたい。
- グローバル人材の育成は、地元をきちんと理解・体験してから、世界に目を向けていくということに取り組みたい。
- 長浜市から、地元の伝統を授業に取り入れることにも協力いただけると伺っており、取り入れていきたい。
- 1年次に地域を知る学習に取り組むことは、たいへん良いことだ。
- 英語の授業は英語で行うとのことなので、併せて現代文、世界史、日本史に充実した内容をお願いしたい。大学生をみても日本語力のある生徒は英語においても論文においても優れている。
- 3年の理系科目に現代文や地理があるのも大事。人文知の充実は大事。
- 小学生が地域を見る目はすばらしい。中学校や高校でもこれを引き継いでいると思うので、よいカリキュラムである。
- 地方創生について、長浜バイオ大学の論文数は大変多いと聞く。理系の学生においても英語を使って、そして世界に活躍するような学生に育ててほしい。長浜バイオ大学とも連携してはどうか。
- 理系を長浜バイオ大学、文系を県立大学と連携を考えている。
- ミシガン州立大学連合の語学研修を考えている。全生徒が語学研修にいけるとよいが難しい。そこで、クラス単位で終日参加できるプログラムなどについて検討している。

7 その他

- 3月中旬にもう1回開催し、校歌、校章等について意見を伺いたいと思っている。